

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



第18回環境フォーラム
「豊かな自然は今も大切に
残される」午後一時開演
天気曇り雨 参加者40名



講師 洞光院住職 見浦大辨



2011年は東日本大震災が起きた年として私たちの胸に深く刻まれている。でも同年7月、新潟・福島両県を集中豪雨が襲い死者・行方不明者が出たことと重なって、この年天は福島に非情だった。インフラも破壊された。JR只見線は3本の橋梁が崩落時に被害が甚大だった。奥会津の山あいの区間は、バスによる代替輸送を余儀なくされた。
災害から11年、10月1日不通区間の工事が終り只見線が全線復旧された。この日を待ち望んでいた線住民の感慨はいかばかりか。日本の鉄道が開業して150年、全国にわたる鉄道の日である。

